

施策評価調書(1)

評価対象年度

令和6年度

めざす姿	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
施策名	3 市民が自己実現をめざせる環境づくり
施策関係課	(市民生活部)文化推進室／(教育総務部)生涯学習課・中央図書館・科学館・スポーツ課

●施策の基本方針(目標)

自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

●目標指標

指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅱ-3)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	34.4(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	32.200	33.400	32.000	33.900	0.000	
指標②	名称	生涯学習施設の利用者数				単位	人
	目標値	6,559,586(令和7年度)		現状値	6,202,448(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	4,419,145.000	4,989,558.000	5,277,156.000	4,968,877.000	0.000	
指標③	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	1,827,446	2,032,939	2,170,069	2,083,617	2,372,314
	概算人件費	718,632	699,018	741,910	759,240	789,177
	総事業費	2,546,078	2,731,957	2,911,979	2,842,857	3,161,491

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策①	単位施策②	単位施策③	
		54	55	56	
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	A			55.0	

結果(平均値)が55以上:A
結果(平均値)が50以上55未満:B
結果(平均値)が40以上50未満:C
結果(平均値)が40未満:D

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位: 千円)

単位施策名 ① 生涯学習活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
社会教育活動運営事業	教育総務部 生涯学習課	2,114	2,116	1,940	1,889	2,239	52	現状維持で実施
		395	385	395	405	415		
社会教育団体補助事業	教育総務部 生涯学習課	407	430	282	382	900	50	縮小して実施
		158	154	158	162	166		
市民大学事業	教育総務部 生涯学習課	1,843	3,222	3,054	2,933	3,349	52	効率化して実施
		4,740	4,620	4,740	4,860	4,980		
公民館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	82,099	108,571	109,611	119,969	129,948	54	現状維持で実施
		260,700	254,100	260,700	267,300	273,900		
中央ふれあい館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	—	—	10,564	12,213	12,557	56	現状維持で実施
		—	—	31,805	33,375	34,045		
生涯学習プラザ施設運営費	教育総務部 生涯学習課	2,091	2,823	3,163	3,296	3,891	58	現状維持で実施
		19,500	19,100	15,800	16,200	16,600		
文化会館施設運営費	教育総務部 生涯学習課	6,894	8,011	9,612	10,316	11,531	55	拡充して実施
		31,100	30,500	31,100	32,100	32,700		
図書館施設運営費	教育総務部 中央図書館	525,286	519,762	515,437	523,199	583,101	58	現状維持で実施
		276,500	269,500	276,500	283,500	290,500		
映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	教育総務部 中央図書館	49,296	49,296	49,296	51,635	51,635	54	現状維持で実施
		2,765	2,618	2,686	1,944	1,992		
科学展示施設運営費	教育総務部 科学館	42,502	43,402	43,627	43,693	43,709	54	現状維持で実施
		17,459	17,017	17,617	18,711	18,758		
天文台施設運営費	教育総務部 科学館	465	533	544	560	444	54	現状維持で実施
		11,929	10,549	10,665	9,072	11,537		
プラネタリウム施設運営費	教育総務部 科学館	16,529	15,896	16,802	16,370	16,196	52	現状維持で実施
		13,509	13,167	12,324	9,882	12,699		
特別企画事業費	教育総務部 科学館	6,743	6,841	7,625	7,504	7,751	58	現状維持で実施
		7,268	7,623	7,663	6,642	6,723		

単位施策名 ② スポーツ・レクリエーション活動の支援								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	教育総務部 スポーツ課	1,200	843	1,100	1,388	1,300	54	現状維持で実施
		632	462	553	567	581		
体育施設維持補修費	教育総務部 スポーツ課	66,332	56,417	54,296	68,745	55,500	54	現状維持で実施
		8,295	2,695	2,370	4,455	4,565		
体育施設改修事業	教育総務部 スポーツ課	111,324	219,034	209,456	480,489	539,492	54	現状維持で実施
		2,449	3,465	3,160	2,835	3,735		
スポーツ推進審議会事業	教育総務部 スポーツ課	168	223	177	170	208	58	現状維持で実施
		1,185	770	1,580	2,025	1,245		
中学校・高等学校運動指導者派遣事業	教育総務部 スポーツ課	1,286	1,593	1,774	1,761	2,233	56	拡充して実施
		632	539	553	567	581		
各種体育大会開催事業	教育総務部 スポーツ課	296	339	393	416	547	56	現状維持で実施
		2,765	2,310	2,370	2,430	2,490		

事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
体育関係表彰事業	教育総務部 スポーツ課	329	644	621	703	873	50	現状維持で実施
		2,765	2,926	2,844	2,916	2,988		
ツーデーマーチ実行委員会交付金	教育総務部 スポーツ課	250	1,978	1,978	1,978	1,978	52	現状維持で実施
		6,960	4,620	4,740	4,860	4,980		
学校体育協会事業	教育総務部 スポーツ課	2,323	2,823	2,823	2,823	2,541	56	現状維持で実施
		5,293	6,160	5,056	5,184	5,312		
スポーツ協会事業	教育総務部 スポーツ課	41,921	53,312	61,063	61,063	61,651	56	現状維持で実施
		2,370	2,310	3,002	3,078	3,154		
スポーツ推進委員協議会事業	教育総務部 スポーツ課	10,933	11,494	11,443	11,593	12,846	56	現状維持で実施
		4,740	5,005	4,977	5,103	5,229		
レクリエーション協会事業	教育総務部 スポーツ課	2,205	3,845	3,878	3,878	3,491	54	現状維持で実施
		4,898	4,697	4,977	5,103	5,229		
スポーツ少年団事業	教育総務部 スポーツ課	1,200	1,200	1,200	1,200	1,080	56	現状維持で実施
		5,293	4,928	4,977	5,103	5,229		
スポーツ推進補助事業	教育総務部 スポーツ課	14,117	15,557	15,823	15,449	14,835	54	現状維持で実施
		1,185	1,001	1,185	1,215	1,245		
青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	教育総務部 スポーツ課	160,714	164,448	160,714	199,942	205,559	54	現状維持で実施
		2,449	3,311	3,160	1,620	2,490		
戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費	教育総務部 スポーツ課	140,406	140,406	164,823	176,000	176,000	54	現状維持で実施
		2,449	3,311	3,160	1,620	2,490		
スポーツ教室開催事業費	教育総務部 スポーツ課	1,158	1,222	1,336	1,167	1,343	54	現状維持で実施
		553	616	1,106	1,134	581		

事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
総合文化センター指定管理者管理運営費	市民生活部 文化推進室	519,600	579,400	627,072	188,561	348,161	54	現状維持で実施
		2,054	2,002	2,054	6,723	6,557		
アートギャラリー指定管理者管理運営費	市民生活部 文化推進室	—	—	63,319	56,874	59,000	54	現状維持で実施
		—	—	2,449	2,511	6,557		
芸術賞賞賜事業	市民生活部 文化推進室	911	897	937	956	1,297	56	現状維持で実施
		2,054	2,156	1,580	1,620	4,150		
市民コンサート事業	市民生活部 文化推進室	770	855	707	751	1,246	58	現状維持で実施
		2,212	2,156	1,896	1,134	1,162		
文化芸術体験事業	市民生活部 文化推進室	0	182	294	228	319	58	現状維持で実施
		0	2,464	316	324	332		
文化振興交付事業	市民生活部 文化推進室	11,834	13,424	11,385	11,623	11,803	54	現状維持で実施
		10,349	10,549	10,981	12,150	12,450		
文化団体補助事業	市民生活部 文化推進室	1,900	1,900	1,900	1,900	1,760	56	現状維持で実施
		1,027	1,232	711	810	830		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	社会教育活動運営事業			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市社会教育委員設置条例／川口市公民館運営審議会条例／川口市立生涯学習プラザ運営審議会条例／川口市立中央ふれあい館運営審議会条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	本市社会教育の各事業について、市民の意見を広く反映させるため、審議し意見助言をいただくものである。また公民館等の運営審議会については、市民の意見等を反映するため、館長の諮問機関として会議を実施する。	地域住民の意見・要望等を広く反映させ、多様な市民の学習ニーズに対応した社会教育活動の充実を目指す。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	社会教育委員会、公民館運営審議会、生涯学習プラザ運営審議会、中央ふれあい館運営審議会を開催した。	・社会教育委員会：1回 ・公民館運営審議会：各館1回(計32回) ・生涯学習プラザ運営審議会：1回 ・中央ふれあい館運営審議会：1回	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
社会教育の各事業・施設運営について審議し、委員をおして市民の意見を広く反映させることができた。		めざす姿から見た現在の進捗状況は、概ね達成できている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議及び審議会の実施回数			指標・目標値の説明(算定式)	社会教育委員会及び公民館等運営審議会の開催回数(令和6年度、横曽根公民館と西川口公民館は合同開催。)			
	単位	回	指標の種別	活動					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
		36.00	36.00	35.00	35.00	35.00			
	実績値・達成状況	36.00 達成	36.00 達成	35.00 達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	1 目	2 細目	1 細々目	社会教育活動運営事業		
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
予算額(A)	2,299	2,299	2,299	2,239	2,239				
決算額(B)=(C)+(D)	2,116	1,940	1,889						
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0				
	一般財源(D)	2,116	1,940	1,889	2,239				
概算人件費(E)	385	395	405	415	415				
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00	0.05 0.00		
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,501	2,335	2,294	2,654	2,654				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
52 ／60	社会教育委員会、公民館運営審議会、生涯学習プラザ運営審議会、中央ふれあい館運営審議会について、いずれも計画どおり開催できた。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	社会教育団体補助事業				担当	教育総務部	
						生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	・川口市補助金等交付規則・川口市婦人団体連絡協議会補助金交付要綱・川口市PTA連合会補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	川口市PTA連合会及び川口市婦人団体連絡協議会の運営事業費の一部を助成し、団体活動の充実・進展を図ることを目的とする。		・市内各学校PTA相互の連携を深め、本市教育の充実振興が促進する。 ・市内婦人団体の育成、健全なる家庭づくりを促進する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	川口市婦人団体連絡協議会、川口市PTA連合会に対し、補助金を交付した。		交付件数2件 交付金額 川口市PTA連合会 261,788円 川口市婦人団体連絡協議会 120,000円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・市内各学校PTA相互の連携を深め、本市教育の充実振興が促進された。 ・健全なる家庭、社会づくりが促進された。		時代のニーズに合わせて、事業内容や組織の見直しを行っている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	1 目	2 細目	3 細々目	社会教育団体補助事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		1,145		1,145		1,145		900		900
決算額(B)=(C)+(D)		430		282		382				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	430		282		382		900		
概算人件費(E)		154		158		162		166		166
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		584		440		544		1,066	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
50 /60	補助金の適正な交付に努める。		翌年度	縮小して実施
			翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	市民大学事業				担当	教育総務部	
						生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	社会情勢が大きく変化する中、市民の学びに対するニーズも多様化していることから、18歳以上の市民を広く対象とし、生涯を通じて学ぶ機会を提供する。	市民がライフステージや障害の有無等にかかわらず、生涯を通じて学び続けることができることにより、自己実現を図り、より心豊かで充実した人生を送ることができることを目指す。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・各公民館において「人文科学・社会科学」「自然科学」「現代的課題」「文化・芸術・川口学」「生きがい・健康」「情報」の各分野から、前期講座18講座、後期講座16講座(一部オンラインを含む)を実施した。 ・公開講座は「心から元気に、輝いて生きるために」をテーマに実施した。(会場:南平文化会館、講師:大場久美子氏)	・講座のべ参加者数: 前期(18講座 72回)1,552人 後期(16講座 64回)1,331人 ・単位認定数: 学士9名、修士3名、博士4名 ・公開講座 1講座 235人 ・Logoフォームを活用したオンラインでの講座申込み(R3年度より導入)が定着し、オンライン利用率は25.7%であった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・各講座への参加を通じ、多様な分野の新たな知的欲求を満たすことができた。 ・オンライン講座の実施により、障害のある方など、公民館に行くことができない市民の方も学習の機会を得ることができた。	・公民館の講座では毎年テーマ分野が変わるため、毎年受講し、単位認定を重ねて「学士・修士・博士」を目指す市民もいる。 ・一方、新たな受講者を増やすため、テーマや開催時間帯に工夫が必要。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市市民大学講座数				指標・目標値の説明(算定式)	35講座実施する					
	単位	講座	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		35.00		35.00		35.00		35.00		35.00		
実績値・達成状況	36.00	達成	35.00	達成	35.00	達成						
指標②	名称	受講生の満足度				指標・目標値の説明(算定式)	受講生アンケートにおいて、「とても満足」「満足」と回答した割合の平均値					
	単位	%	指標の種別	成果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		85.00		85.00		85.00		85.00		85.00		
	実績値・達成状況	85.00	達成	85.00	達成	86.40	達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	1 目	4 細目	1 細々目	市民大学事業			
年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)	3,877	3,645		3,570		3,349		3,349		
決算額(B)=(C)+(D)	3,222	3,054		2,933						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	3,222		3,054		2,933		3,349		
概算人件費(E)		4,620		4,740		4,860		4,980		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,842		7,794		7,793		8,329		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	市民の学習ニーズの多様化に対応し、新たな分野の開拓やより専門性の高い内容など講座内容の見直しを行うとともに、場所や時間に制限のないオンライン講座の拡充を図る。大規模な講演会形式の公開講座については費用対効果を検証し、公民館で実施する講座の充実と併せて効率化を図る。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	公民館施設運営費				担当	教育総務部	
						生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7655	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	社会教育法、川口市立公民館設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	多様化する市民ニーズに対応し、市民に新たな学習機会を提供するとともに、公民館を学びとつながりの場として活用し、施設の貸出および多様な講座の実施を通じて、市民の自己実現につなげることを目的とする。		さまざまな世代が交流しながら学び続け、学習成果を地域に還元できる生涯学習社会の実現をめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・市民に対し、生涯学習活動の場として公民館の貸館を行った ・公民館において、様々な分野の講座を実施した		・公民館の貸館人数 1,360,984人 ・主催講座の参加者数 29,858人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
		・子どもから高齢者まで、さまざまな世代が公民館講座に参加し、新たな学びにつながった。		さまざまな世代が公民館講座に参加できるよう、多種多様な講座を実施した。また、各公民館で活動する団体が、公民館講座の講師として教えるなど、学びの循環ができています。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年間教室開催件数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績の積み上げから設定したもの。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		830.00		830.00		830.00		830.00		830.00		
実績値・達成状況	628.00	未達成	958.00	達成	851.00	達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	2 目	1 細目	1 細々目	公民館施設運営費			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		123,431		111,022		127,594		129,948		129,948		
決算額(B)=(C)+(D)		108,571		109,611		119,969						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	108,571		109,611		119,969		129,948				
概算人件費(E)		254,100		260,700		267,300		273,900		273,900		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	33.00	0.00	
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	362,671		370,311		387,269		403,848		403,848		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	市民の学習ニーズは多様化しており、発展的な講座の企画、発信方法の検討など、より多くの市民に参加していただける魅力ある事業を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	中央ふれあい館施設運営費				担当	教育総務部	
						生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-222-2798	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援				
根拠法令等	川口市立中央ふれあい館設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民に対し、自己実現のための自発的学習を奨励し、その意欲を高め、知識の習得及び技術の向上を目的とする。特に高齢者については、交流の場づくりを提供する。		市民が学びたいときに自発的に学ぶことができ、学びを通して、「人が育ち・つながり・深まり」地域内での交流が活発になるよう、より良い地域づくりを目指す。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・市民に対し、生涯学習活動の場としての貸館を行った。 ・高齢者向けに「若返り健康講座」や「終活ナビ」を、一般向けに「深掘り！かわぐちの歴史」、「そば打ち教室」、「手作り味噌教室」を、子ども向けに「子どもスポーツひろば」、「親子お菓子づくり教室」、「子ども料理教室」など、様々な分野の講座を実施した。		いずれの講座も希望者が多く、定員を設定している講座は募集数を超える応募があり定員に達することができた。 ・ふれあい館の貸館人数 161,879人 ・主催講座の参加者数 721人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	これらの参加者が別の講座に参加していることから、学ぶ意思を醸成することができた。そして、その場を提供できた。定期的に活動団体の問い合わせが来る。特に高齢者が多いことから、高齢者の交流の場づくりの一助になっている。		市民に対して学ぶ場を提供することで地域内の交流が深まった。また、講座についても応募者が多く、一定の参加を見ることができた。引き続き、さまざまな世代が参加できるよう、講座の企画、周知方法を検討していく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(中央ふれあい館)				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		—		200,000.00		200,000.00		200,000.00		200,000.00	
実績値・達成状況	—	—	154,724.00	未達成	161,879.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	3 目	1 細目	1 細々目	中央ふれあい館施設運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		12,688		12,455		12,579		12,557		12,557
決算額(B)=(C)+(D)		11,976		10,564		12,213				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	11,976		10,564		12,213		12,557		
概算人件費(E)		31,145		31,805		33,375		34,045		34,045
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.30	1.55	3.30	1.55	3.35	1.60	3.35 1.60
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	43,121		42,369		45,588		46,602		46,602

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	計画していた講座は予定どおり実施することが出来た。今後も施設の良好な維持管理を継続するとともに、地域の多様化するニーズを速やかに把握し、事業内容に反映できるよう検討していく。また、誰もが参加できるよう、講座開催方法の検討・改善に努めていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	生涯学習プラザ施設運営費			担当	教育総務部 生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	253-1444	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	45	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立生涯学習プラザ設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民へ生涯にわたる学習の機会を提供し、市民相互の学び合い及び交流を促進することにより、生涯学習活動の振興を図るとともに、福祉の増進に寄与することを目的とする。		現代的・社会的課題への対応として、環境教育・消費者教育及び高齢者教育等の事業の実施の他に、子育て支援や趣味・教養の事業の充実を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	赤ちゃんと一緒にふれあいセミナー、子育てホッとサロン 親子パン作り教室、親子手打ちうどん体験教室 働く女性の漢方薬と薬膳講座、手作りみそ教室 オンライン講座「中国茶教室」、海の日コンサート等の事業を実施した。		各事業において定員を上回る応募があり、多くの市民の参加があった。また、参加者のアンケートにおいては内容に満足したことやまた参加したいといった好評の声が多数あった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	市民へ学習の機会を提供し、生涯学習活動の支援に寄与することができた。		幅広いジャンルの取り組みを展開することで、多様な市民ニーズに応えることができた。実施した事業の応募者数や参加者満足度の高さから、生涯学習活動の促進という目的に対しての進捗状況は良好であるといえる。 今後は、特定の年齢層に集中している参加者の分布をより広範囲に広げ、市民全体に学びの場を提供する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	利用者数(生涯学習プラザ)				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績に基づき算定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		25,000.00		25,000.00		25,000.00		25,000.00		0.00		
	実績値・達成状況	48,918.00	達成	57,094.00	達成	60,457.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	4 目	1 細目	1 細々目	生涯学習プラザ施設運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		3,102		3,172		3,333		3,891		3,891
決算額(B)=(C)+(D)		2,823		3,163		3,296				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,823		3,163		3,296		3,891		
概算人件費(E)		19,100		15,800		16,200		16,600		16,600
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	1.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		21,923		18,963		19,496		20,491		20,491

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	多様なテーマの講座を実施することで、市民が参加しやすい環境を整えることができた。限られた予算で運営を進める中で事業の効率化を図りつつ、より多くの市民に学びの機会を提供するため、講座内容のさらなる充実や多様化するニーズへの対応力向上に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	文化会館施設運営費				担当	教育総務部	
						生涯学習課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-3612	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立南平文化会館設置及び管理条例・川口市立南平文化会館管理規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民の芸術文化の向上と福祉の増進を図ることを目的とする。		市民の芸術文化の向上と福祉の増進をめざす。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	音楽会、講演会などの主催およびに共催事業を実施した。 ①おかあさんコーラスの集い ②秋のタベコンサート		①おかあさんコーラスの集い 市内で活動する女性コーラス団体を招き発表会を実施した。 ②秋のタベコンサート 様々な演奏家を招いてコンサートを開催し、来場者に多彩なジャンルの音楽に触れてもらった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	①既に文化活動に参加している市民に発表の場を設けて意欲の高揚を促すとともに、一般来場者観覧を設けることで新たな活動参加者の増進に寄与することができた。 ②多様なジャンルの音楽を秋のタベにまとめて、申込不要かつ入場無料で観覧できる参加しやすいコンサートを開催したことで、来場者にとって新たな音楽との出会いを促進できた。		「おかあさんコーラスの集い」と「秋のタベコンサート」はともに川口市を代表する事業となることを目指しているが、認知度が低いため、広報手段を工夫する必要がある。多くの人に知ってもらえるよう広報することで、出演希望者および観覧希望者が増え、本市を代表する事業へより一層発展することが見込まれる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	自主事業における年間利用者数				指標・目標値の説明(算定式)	自主事業における会場収容人数の上限をもとに設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1,220.00		1,220.00		1,220.00		1,220.00		1,220.00		
実績値・達成状況	103.00	未達成	277.00	未達成	470.00	未達成						
指標②	名称	貸館事業における年間利用者数				指標・目標値の説明(算定式)	過去5年間の平均実績をもとに設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		55,000.00		55,000.00		55,000.00		55,000.00		55,000.00		
	実績値・達成状況	26,800.00	未達成	29,662.00	未達成	38,815.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	5 目	1 細目	1 細々目	文化会館施設運営費			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		9,068		9,692		10,431		11,531		11,531		
決算額(B)=(C)+(D)		8,011		9,612		10,316						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	8,011		9,612		10,316		11,531				
概算人件費(E)		30,500		31,100		32,100		32,700		32,700		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00	3.00	2.00	
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	38,511		40,712		42,416		44,231		44,231		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	12 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	足りなかった	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
55 /60	従来より続けている事業と令和5年度より実施した事業の取り合わせとなった。前者については、関係団体の高齢化や団体構成人数の減少があり、事業を継続するための方策を考える時期であり、後者については、広報手段等の工夫を図り、認知度を高める時期だと考えられる。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	図書館施設運営費			担当	教育総務部 中央図書館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7613	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立図書館設置及び管理条例、川口市立図書館管理規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民の知的自由を支え、知的欲求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援する。		生涯学習の重要な拠点施設として、質の高いサービスを提供し、生涯学習の充実を支援する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・電子図書を含む図書館資料の選書・貸出・調査相談サービス、各種企画展示や子ども向けのおはなし会等のイベント、学校との連携事業としての出張ブックトーク等の実施。 ・図書館未設置地区に移動図書館車の巡回、来館困難者への「宅配サービス」、視覚障害者への対面朗読、点字・音声資料の充実を図り貸出を実施。		・総貸出点数:2,508,671点、電子図書貸出点数:14,776点、おはなし会参加人数:4,721人、講座等参加人数:574人 ・移動図書館利用者数:4,118人、 宅配サービス延べ利用者数:219人、 対面朗読:68回、点字資料貸出数:61タイトル86冊、 録音図書貸出数:1,911タイトル1,997巻	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	電子図書サービス、移動図書館車の巡回、宅配サービス等の実施により多くの利用者が自己の状況に応じた読書へのアクセスが可能となった。 また、おはなし会や出張ブックトーク等により、子どもの読書への関心を高めた。更に、対面朗読、点字・音声資料の貸出実施により視覚障害者への読書環境の確保に努めた。		各サービスの適切な運用や拡充に努める中、電子図書のコンテンツのより一層の充実が特に重要である。 また、子どもの読書離れ防止に向けた取り組みとして「川口市子ども読書活動推進計画」の一層の充実が不可欠である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入館者数(図書館)			指標・目標値の説明(算定式)	指標:中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館及び芝園分室の入館者数 目標値:平準的な開館日数である直近年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		1,730,007.00		1,715,680.00		1,701,596.00		1,687,752.00		0.00
	実績値・達成状況	1,405,480.00	未達成	1,461,946.00	未達成	1,256,726.00	未達成			
指標②	名称	おはなし会参加人数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:おはなし会、夏休みおはなし会、クリスマスおはなし会、わらべうたの会の参加者数 目標値:前年度の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		6,800.00		6,800.00		6,800.00		6,800.00		0.00
	実績値・達成状況	2,917.00	未達成	4,295.00	未達成	4,721.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	6 目	2 細目	1 細々目	図書館施設運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		522,209		516,236		523,199		583,101		583,101
決算額(B)=(C)+(D)		519,762		515,437		523,199				
財源※	特定財源(C)	49,576		103,305		104,123		103,792		
	一般財源(D)	470,186		412,132		419,076		479,309		
概算人件費(E)		269,500		276,500		283,500		290,500		290,500
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	35.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		789,262		791,937		806,699		873,601		873,601

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
58 ／60	各サービスの更なる充実のため、様々な工夫を凝らし、利用者の利便性の向上を図り、図書館の基本である資料の充実に引き続き努める。また、今年度末で計画期間が満了となる「川口市子ども読書活動推進計画」の改訂作業を行い、子どもの読書離れ防止に対応した計画を策定する。更に、図書館の紹介動画を作成し、周知を強化していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費			担当	教育総務部 中央図書館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-227-7613	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～	令和	10	年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援						
根拠法令等	川口市立映像・情報メディアセンター設置及び管理条例 等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	指定管理者による柔軟かつ総合的な施設運営及びメディアコンテンツを通じた事業等を行い、市民の自己実現を図ることを目的とする。		映像・情報メディアセンター各種施設の利用提供及び指定管理者が費用等を負担して自らが企画する自主事業を実施する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・映像・情報メディアセンターのPR映像をホームページに公開するとともにキャスティングに上映を依頼。 ・各種ワークショップ・イベント、企画展示などのサービス業務を積極的に実施 ・リモートワーク、読書・学習用「ワーキングスペース」の貸出 ・Webでの施設予約システム		・貸出施設利用件数3,517件、ワークショップ・イベント参加者数11,789人、企画展示参加者数16,578人、ワーキングスペース利用者数1,199人。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・貸出施設利用件数が増加した。 ・「ワーキングスペース」を継続したことで、テレワークの支援と住民等のニーズに即したサービスを提供した。 ・窓口や電話に加え、Webでの施設予約ができることにより開館時間に関わらずいつでも施設やイベントの予約が可能になった。		・アンケートなどにより利用者のニーズを把握し、ワーキングショップや企画展を開催することに加え、効果的な広報活動を引き続き実施する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:メディアセンターに来館した人数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		120,000.00		120,000.00		120,000.00		120,000.00		0.00
	実績値・達成状況	70,492.00	未達成	85,062.00	未達成	84,842.00	未達成			
指標②	名称	貸出施設利用件数			指標・目標値の説明(算定式)	指標:各種スタジオ(貸館用)の利用件数 目標値:過去の実績を参考に決定				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		3,300.00		3,300.00		3,300.00		3,300.00		0.00
	実績値・達成状況	3,598.00	達成	3,435.00	達成	3,517.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	7 目	1 細目	1 細々目	映像・情報メディアセンター指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		49,297		49,297		51,635		51,635		51,635
決算額(B)=(C)+(D)		49,296		49,296		51,635				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		1,200		
	一般財源(D)	49,296		49,296		51,635		50,435		
概算人件費(E)		2,618		2,686		1,944		1,992		1,992
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.34	0.00	0.34	0.00	0.24	0.00	0.24 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		51,914		51,982		53,579		53,627		53,627

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 /60	課題は施設稼働率の向上及び、収益の増加を図ること。改善策として、効果的な広報活動を引き続き行うなど、施設の知名度の向上を図り、魅力ある事業を実施する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	科学展示施設運営費			担当	教育総務部	
					科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	参加体験型の展示物を有効に活用するとともに、各種事業を開催することにより、利用者の科学に対する興味関心を高める。	市民が自ら科学の楽しさを発見する場や機会の提供を通じて、生涯にわたり科学に親しむ心を育てる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・約40種ある科学展示装置での参加・体験及び解説やミニ実験ショーの実施 ・サイエンスショー・ワークショップ等の実施 ・学校や商業施設等への科学出張教室や講師派遣 ・鉄道模型:定時自動運転及び有料での運転体験 ・その他、夏休み科学教室等各種講座の開催	・科学展示室入場者数:79,279人 ・サイエンスショー参加者数:5,613人 ・わくわくワーク・どきどきサイエンス参加者数:24,348人 ・出張教室等参加者数:6,949人 ・鉄道模型有料運転利用者数:9,088人 ・入場料収入:7,741,050円・鉄道模型収入:908,800円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・科学全般に関する学習意欲の向上 ・理科教育の充実	科学展示装置の改修が当初計画より遅れている。成果は指標①が達成、指標②が未達成。指標②については、内容や参加者数が依頼者の都合に左右されたことが一因と考えられる。今後も入場者数を確保しつつ、科学館の教育的効果を向上させるため、多様な事業の展開とともに展示装置の計画的な改修を進めていく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	科学展示施設入場者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値78,891人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		76,570.00		77,336.00		78,110.00		78,891.00		79,680.00
	実績値・達成状況	77,408.00	達成	76,756.00	未達成	79,279.00	達成			
指標②	名称	館外事業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値9,082人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		8,815.00		8,903.00		8,992.00		9,082.00		9,172.00
	実績値・達成状況	5,873.00	未達成	7,814.00	未達成	6,949.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	6 項	9 目	2 細目	1 細々目	科学展示施設運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		43,473		43,707		43,720		43,709		43,709
決算額(B)=(C)+(D)		43,402		43,627		43,693				
財源※	特定財源(C)	8,072		8,576		8,650		8,757		
	一般財源(D)	35,330		35,051		35,043		34,952		
概算人件費(E)		17,017		17,617		18,711		18,758		18,758
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.21	0.00	2.23	0.00	2.31	0.00	
								2.26	0.00	2.26 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		60,419		61,244		62,404		62,467		62,467

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	入場料の改定など財源の確保を常に念頭に入れ、事業全体が陳腐化しないよう、新規来館者及びリピーターの獲得に向け、新しい技術を取り入れた展示装置の更新を計画的に進めるとともに、積極的な事業展開を図っていく必要があると考えている。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	天文台施設運営費			担当	教育総務部	
					科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	本物の天体を実際に観測・体験することで、深い興味と感動を覚え、科学的なものの見方や考え方を身につける。		市民が自ら科学の楽しさを発見する場や機会の提供を通じて、生涯にわたり科学に親しむ心を育てる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・天文台での観測会やガイドツアー、観測実習等の実施 ・観測会：(通常)第2・4土曜、(特別)天文現象にあわせ実施 ・天文台ガイドツアー：(通常)土曜、(特別)無料公開日 ・太陽観測出張授業：随時 ・天文台特別ライブ配信：天文現象により実施 ・その他、夏休み子ども天文教室、夜間出張観望会等を実施		天文台見学者数：1, 506人 ・観測会：(通常)28回 612人 (特別)2回 257人 天文台ガイドツアー：(通常)46回 312人 (特別)2回 167人 ・太陽観測出張授業：7回 556人 天文台特別ライブ配信：1回 アクセス数991件。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・科学(天文学)に関する学習意欲の向上 ・理科教育の充実		進捗は計画どおり。成果は指標①が達成、指標②が未達成。指標②はコロナ禍前の参加者数が目標値で、収束後も学校等からの依頼が以前の水準まで戻っていないことが影響している。天文事業は天候に左右されることも多く定員にも限りがあるが、今後も人材と資源を有効に活用しながら、星空を身近に感じられる事業を継続的に実施していく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	天文台公開参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	天文台利用者及び観測授業参加者数。令和7年度の目標値1, 379人に向けて設定。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	1,338.00		1,351.00		1,365.00		1,379.00		1,393.00
指標②	名称	太陽観測出張授業参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度の目標値1, 386人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	300.00	未達成	618.00	未達成	556.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	9 目	2 細目	2 細々目	天文台施設運営費			
年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)	612	566		580		444		444		
決算額(B)=(C)+(D)	533	544		560						
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0			
	一般財源(D)	533	544		560		444			
概算人件費(E)	10,549	10,665		9,072		11,537		11,537		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.37	0.00	1.35	0.00	1.12	0.00	1.39	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	11,082	11,209		9,632		11,981		11,981		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	今後も定期事業のほか、話題性のある天文現象を中心として、観測会や天体の画像配信などを積極的に実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	プラネタリウム施設運営費				担当	教育総務部	
						科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	天候等に左右されないプラネタリウムを用いて、星を観て、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。		市民が自ら科学の楽しさを発見する場や機会の提供を通じて、生涯にわたり科学に親しむ心を育てる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・プラネタリウムでの星空解説や映像番組投影の実施 ・一般投影:木・土・日曜日・祝日と夏・冬・春休み期間 ・キッズアワー:日曜日・祝日(小学校低学年程度を対象) ・学習投影・幼児投影:随時 ・その他:無料公開日投影、星空リラクゼーション、特別投影「七夕・クリスマス」、天文講演会等を実施。		・プラネタリウム観覧者数:33,809人 ・一般投影:459回 20,182人 ・キッズアワー:64回 2,426人 ・学習投影・幼児投影:113回 8,699人 ・観覧料収入:6,976,380円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・科学(天文学)に関する学習意欲の向上 ・理科教育の充実		事業の進捗は計画どおりである。成果としては目標値未達成であった。これは、番組内容によるものが多いと考えており、今後は観覧者数の増に向け、話題性があり集客力のある番組をできるだけ採用するとともに、その他の企画投影についても事業内容を精査するなど、目標達成に向けた対策を実施していく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	プラネタリウム観覧者数			指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度目標値36,655人に向けて設定				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		35,578.00		35,934.00		36,293.00		36,655.00		37,022.00
指標②	実績値・達成状況	39,488.00	達成	37,723.00	達成	33,809.00	未達成			
	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10款	6項	9目	2細目	3細々目	プラネタリウム施設運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		16,174		16,848		16,384		16,196		16,196
決算額(B)=(C)+(D)		15,896		16,802		16,370				
財源※	特定財源(C)	8,161		8,103		6,976		7,307		
	一般財源(D)	7,735		8,699		9,394		8,889		
概算人件費(E)		13,167		12,324		9,882		12,699		12,699
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.71	0.00	1.56	0.00	1.22	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		29,063		29,126		26,252		28,895		28,895

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
52 ／60	投影内容・回数の検討など、事業の効率化とともに観覧者数を増やす対策を検討・実施していく。また、入場料の改定などを含めた財源の確保を常に念頭に入れ、事業全体が陳腐化しないよう、機器の更新を計画的に進めるとともに、積極的な事業展開をしていく必要があると考えている。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	特別企画事業費				担当	教育総務部	
						科学館	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	262-8431	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-① 生涯学習活動の支援					
根拠法令等	川口市立科学館設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	特別展の開催により、常設展示物とは別の視点から科学に親しむ機会を提供することにより、利用者の科学に対する興味関心を更に高める。		市民が自ら科学の楽しさを発見する場や機会の提供を通じて、生涯にわたり科学に親しむ心を育てる。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・特別展「スポーツ展～2024～科学で広がるスポーツの見方～」 ・サイエンスまつり「科学×くらし×未来 科学のチカラをくらしにプラス、未来にプラス。」 ・特別展「科学の眼を持った天才～レオナルド・ダ・ヴィンチの発明と未来への夢～」		・スポーツ展:31日間開催 延参加者数10,991人 ・サイエンスまつり:25日間開催 延参加者数9,056人 ・ダ・ヴィンチ展:45日間開催 延参加者数12,602人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・科学に関する学習意欲の向上 ・理科教育の充実		事業の進捗は計画どおりである。成果としては目標値を達成した。今後も様々なテーマを企画・検討し、入場者数を確保しつつ、科学館の教育的効果を向上させる事業を計画的に実施していく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別展等入場者数				指標・目標値の説明(算定式)	令和7年度目標値29,647人に向けて設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		28,774.00		29,062.00		29,353.00		29,647.00		29,943.00		
実績値・達成状況	26,534.00	未達成	31,124.00	達成	32,649.00	達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10款	6項	9目	2細目	4細々目	特別企画事業費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		6,962		7,792		7,863		7,751		7,751
決算額(B)=(C)+(D)		6,841		7,625		7,504				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		500		
	一般財源(D)	6,841		7,625		7,504		7,251		
概算人件費(E)		7,623		7,663		6,642		6,723		6,723
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.99	0.00	0.97	0.00	0.82	0.00	
								0.81	0.00	0.81 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		14,464		15,288		14,146		14,474		14,474

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	特別展をきっかけとした新規入場者及びリピーターの獲得に向け、今後も利用者の関心が高いテーマを調査・研究し、事業の効率化を図りながら質の高い展示を計画的に実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	JOC又はその加盟団体、JPC又はその加盟団体及び埼玉県「彩の国プラチナスリート」の各強化指定選手を対象に競技活動に関する経費の一部を助成する。		オリンピック・パラリンピック強化指定選手に激励金を交付することにより大会出場に向けた競技力の向上を図るとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	オリンピック・パラリンピックに出場・活躍が期待される強化指定選手に対し、競技活動を奨励するため、各対象者に年度10万円を限度として激励金を交付した		オリンピック8人 水泳(飛込)、スポーツクライミング、射撃(ライフル射撃)、スケートボード パラリンピック6人 車いすテニス、シッティングバレーボール、陸上(やり投げ)、デフサッカー	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
		優秀な選手に対し、競技活動を支援するとともに、本市におけるスポーツ振興及びオリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成に良い影響を与えた。		より効果的な、支援額や支援枠の設定について検討していく必要がある。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	7 細々目	オリンピック・パラリンピック強化指定選手激励金交付事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		1,500		1,500		1,500		1,300		1,300
決算額(B)=(C)+(D)		843		1,100		1,388				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	843		1,100		1,388		1,300		
概算人件費(E)		462		553		567		581		581
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.06	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,305		1,653		1,955		1,881		1,881

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	支援額、支援者の設定について検討し、オリンピック・パラリンピックに出場する優秀な選手に、より効果的な激励金の交付を行う必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	体育施設維持補修費				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	各体育施設は、個人・団体利用及び各種大会等で利用されており、また、経年劣化が進んでいることから、安全・安心な施設利用に向けて維持補修を図るもの。		継続的なスポーツ活動の場を提供することにより、誰もが体力向上・健康増進や、競技力向上といったそれぞれの目的に応じてスポーツに親しめる環境づくりを目指すもの。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	経年劣化した体育施設を維持するための施設修繕及び補修工事		施設修繕 244件 補修工事 1件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	利用者が安全・安心に施設を利用することができる環境を整えた。		利用者の安全・安心の確保を図るべく、計画的な施設の維持補修に取り組んでいるが、施設の経年劣化が進んでいることから、限られた財源の中で全てを実施していくのは困難である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	2 細々目	体育施設維持補修費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		63,257		58,046		70,297		55,500		69,161
決算額(B)=(C)+(D)		56,417		54,296		68,745				
財源※	特定財源(C)	0		0		2,000		2,000		
	一般財源(D)	56,417		54,296		66,745		53,500		
概算人件費(E)		2,695		2,370		4,455		4,565		4,565
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.30	0.00	0.55	0.00	0.55 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		59,112		56,666		73,200		60,065		73,726

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 /60	施設の経年劣化が進む中で、利用者の安全・安心の確保を図るべく、施設の維持補修を継続的に実施していく必要があるが、限られた財源の中で全てを実施していくのは困難であることから、引き続き、優先度を意識して計画的に事業を推進していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	体育施設改修事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	各体育施設は、個人・団体利用及び各種大会等で利用されており、また、経年劣化が進んでいることから、安全・安心な施設利用及び施設機能の向上に向けて、施設改修を図るもの。		継続的なスポーツ活動の場を提供することにより、誰もが体力向上・健康増進や、競技力向上といったそれぞれの目的に応じてスポーツに親しめる環境づくりを目指すもの。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	経年劣化した体育施設を維持するとともに、機能の向上を図るための施設改修工事等		改修工事 3件 撤去工事 1件 器具等借上 2件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	利用者が安全・安心に施設を利用することができる環境を整えるとともに、施設の機能向上が図られた。		利用者の安全・安心の確保、併せて施設の機能向上を図るべく、計画的な施設改修に取り組んでいるが、施設の経年劣化が進んでいることから、限られた財源の中で全てを実施していくのは困難である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	3 細々目	体育施設改修事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		244,991		275,933		482,834		539,492		642,779
決算額(B)=(C)+(D)		219,034		209,456		480,489				
財源※	特定財源(C)	144,900		170,000		460,600		534,500		
	一般財源(D)	74,134		39,456		19,889		4,992		
概算人件費(E)		3,465		3,160		2,835		3,735		3,735
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.40	0.00	0.35	0.00	0.45 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		222,499		212,616		483,324		543,227		646,514

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	施設の経年劣化が進む中で、利用者の安全・安心の確保を図るべく、施設改修を継続的に実施していく必要があるが、限られた財源の中で全てを実施していくのは困難であることから、引き続き、優先度を意識して計画的に事業を推進していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	スポーツ推進審議会事業				担当	教育総務部	
						スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市スポーツ推進審議会条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	スポーツ基本法第31条及び川口市スポーツ推進審議会条例に基づき、本市のスポーツの推進に関する事項について調査審議するとともに、教育委員会に意見を具申するもの。		市のスポーツ行政に対して、スポーツ推進を図る観点から必要な事項等について、専門委員で構成される審議会の意見を踏まえることで、効果的な施策展開につなげるもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	審議会を年2回開催し、本市のスポーツ推進に関する事項について、教育委員会の諮問に応じて調査審議し建議するとともに、教育委員会に意見を具申した。		第1回 令和6年7月29日実施 第2回 令和7年2月4日実施	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
		川口マラソン、川口ツーデーマーチといったイベントの開催や、(仮称)神根総合運動公園の整備といった市のスポーツ行政について調査審議することで、効果的な施策展開につながった。	市のスポーツ行政を効果的に実施していく上で、専門性を有する委員で構成される審議会での調査審議は不可欠であり、引き続き、事業を実施していく必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	1 細々目	スポーツ推進審議会事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		224		194		208		208		194
決算額(B)=(C)+(D)		223		177		170				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	223		177		170		208		
概算人件費(E)		770		1,580		2,025		1,245		1,245
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.20	0.00	0.25	0.00	0.15 0.00 0.15 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	993		1,757		2,195		1,453		1,439

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	スポーツイベントの開催方法やスポーツ施設の整備・充実といった市のスポーツ行政を効果的に実施していく上で、専門性を有する委員で構成される審議会での調査審議は不可欠であり、引き続き、事業を実施していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	中学校・高等学校運動指導者派遣事業				担当	教育総務部	
						スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市立中学校・高等学校運動部活動指導者派遣事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	中学校・高等学校の運動部活動に外部指導者を派遣する。		川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	指導者は、各学校の運動部活動における技術指導への協力と援助を行った。		市内中学・高等学校21校に指導者として31名を派遣した。 【競技内訳】 卓球6名、ダンス1名、バスケ2名、バレーボール3名、ソフトテニス2名、野球2名、柔道2名、陸上2名、剣道4名、硬式テニス1名、新体操1名、水泳2名、バドミントン1名、ソフトボール1名、サッカー1名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	専門的な技術を備えた指導者を派遣することにより、市内中学校・高等学校の運動部活動の充実・活性化が図られた。また、指導を受けた生徒の部活動に対する意欲が高まり、競技力の向上が図られた。		学校、指導者のニーズを把握し、どちらにとっても活用しやすい事業として実施していく必要がある。 部活動の地域移行に伴い、指導者を希望する学校や指導者数の増加が見込まれるため、事業規模の拡大に向けた整備が課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指導者派遣数			指標・目標値の説明(算定式)	中学校・高等学校に派遣した指導者数 中学校27人、高等学校2人、計29人					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		29.00		39.00		35.00		35.00		35.00	
	実績値・達成状況	29.00	達成	32.00	未達成	31.00	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	2 細々目	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		2,090		2,420		2,513		2,233		2,379
決算額(B)=(C)+(D)		1,593		1,774		1,761				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,593		1,774		1,761		2,233		
概算人件費(E)		539		553		567		581		581
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,132		2,327		2,328		2,814		2,960

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	部活動の地域移行に伴い、指導者を希望する学校や指導者数の増加が見込まれる場合、指導者の登録数や指導回数の上限など、事業規模の拡大に向けた整備を検討していく。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	各種体育大会開催事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	各大会開催要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	児童・生徒を対象にした各種体育大会を実施する。	児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ活動をととして児童・生徒の心身の健康づくりと児童相互の親睦を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 少年少女ふれあいなわとび大会(通信制にて開催) 中学校駅伝競走	参加者 少年少女スポーツ大会(柔道・剣道) 412 人 少年少女ふれあいなわとび大会 18,885 人 中学校駅伝競走 442 人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
スポーツ大会を通じて技量の向上が図られるとともに、児童・生徒の体力の向上が図られた。また、大会に向けて練習に粘り強く取り組むなど、精神面の成長が図られた。		大会開催にあたる事業費の増大が課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	少年少女ふれあいなわとび大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	市内小学校52校×1校平均55人×2回=5,720人			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
		5,720.00	5,720.00	5,720.00	5,720.00	5,720.00			
	実績値・達成状況	23,032.00 達成	21,466.00 達成	18,885.00 達成					
指標②	名称	少年少女スポーツ大会参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	市内小学生対象の柔道クラブ7団体、剣道クラブ19団体 合計26団体×1団体約13人=338人			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
		338.00	338.00	338.00	338.00	338.00			
	実績値・達成状況	207.00 未達成	431.00 達成	412.00 達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	8 項	1 目	2 細目	3 細々目	各種体育大会開催事業		
年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
予算額(A)	448	494	498	547	585				
決算額(B)=(C)+(D)	339	393	416						
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0				
	一般財源(D)	339	393	416	547				
概算人件費(E)	2,310	2,370	2,430	2,490	2,490				
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,649	2,763	2,846	3,037	3,075				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	大会開催にあたる事業費の増大が課題であり、効果的・効率的な事業の推進を目指していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	体育関係表彰事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	川口市体育賞表彰要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	川口市の体育スポーツの振興に貢献し、その功績顕著な者と、スポーツ界で優秀な成績を収めた者で、真にスポーツ人としての品位ある人格を有する者に対して市または教育委員会が表彰する。		優秀な成績をたたえることで、今後の競技へのモチベーション向上を図り、川口市ゆかりの優秀なアスリートを多く輩出する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	川口市体育三賞授与式(令和7年1月31日:川口駅前市民ホールフ렌ディア)を開催。		大会において優秀な成績を収めたアスリートを表彰できた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	今後の競技へのモチベーション向上を図ることができた。		概ね達成できていると考えるが、多くの競技団体が全国大会を実施する中で、大会規模や参加者の参加資格などにより、真に表彰にふさわしい大会が精選する必要がある事が課題となる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称				指標・目標値の 説明(算定式)											
	単位	指標の種別														
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	実績値・達成状況															
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)											
	単位	指標の種別														
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	実績値・達成状況															

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	4 細々目	体育関係表彰事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		686		709		752		873		882
決算額(B)=(C)+(D)		644		621		703				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	644		621		703		873		
概算人件費(E)		2,926		2,844		2,916		2,988		2,988
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.38	0.00	0.36	0.00	0.36	0.00	0.36 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,570		3,465		3,619		3,861	
										3,870

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	事業の進捗状況及び課題を踏まえ、選考委員と協議し真に表彰にふさわしい大会が精選する必要があると考えられる。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	ツーデーマーチ実行委員会交付金				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	19	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	ツーデーマーチ実行委員会交付金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	体力低下が社会問題となっていることから、補助金を交付することで、事業の推進を図る。		参加者に心や体の健康づくり、多くの歩く仲間とのふれあいや親睦を深めてもらう。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	令和6年9月21日・22日に第17回川口ツーデーマーチを実施した。		1日目1,404人、2日目1,156人、2日間合計2,560人の参加があった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
		参加者に心や体の健康づくり、多くの歩く仲間とのふれあいや親睦を深めてもらうことができた。		めざすべき姿は概ね達成できていると考えるが、参加者が減少していることから、広報活動を充実させる必要がある。参加者のニーズにあったコース設定など参加者にとって魅力的な大会にしていける必要がある。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	2 細目	5 細々目	ツーデーマーチ実行委員会交付金	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		1,978		1,978		1,978		1,978		1,978
決算額(B)=(C)+(D)		1,978		1,978		1,978				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,978		1,978		1,978		1,978		
概算人件費(E)		4,620		4,740		4,860		4,980		4,980
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60	0.00	0.60 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,598		6,718		6,838		6,958		6,958

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	事業の進捗状況及び課題を踏まえ、広報活動を充実させ、ライト層の参加者を増やしていけるよう工夫を凝らしていく必要があると考える。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	学校体育協会事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ基本法／学校体育奨励交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	川口市学校体育協会が実施する事業の一部を交付する。		児童・生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な児童・生徒を育成するとともに、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・小、中、高校水泳記録会 ・中学校通信陸上競技大会 ・小・中学校体育授業研究協議会 ・学校総合体育大会 ・市民体育祭(中学校の部) ・中学校交歓大会 ・体育実技伝達講習会 の一部を助成した。		学校体育協会の事業が滞りなく実施された。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・中学校体育大会の開催により、他校の選手と競い合うことで競技力の向上が図られた。 ・指導者の資質・向上を図ることで、児童・生徒のスポーツに親しむ資質・能力の向上が図られた。		概ね達成できている。 大会運営を行う教職員の負担軽減策の立案、学校現場を取り巻く環境を考慮した大会運営案の検討、部活動の地域クラブ移行に伴うクラブチームの参加体制の構築が課題である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	1 細々目	学校体育協会事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		2,823		2,823		2,823		2,541		4,464
決算額(B)=(C)+(D)		2,823		2,823		2,823				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,823		2,823		2,823		2,541		
概算人件費(E)		6,160		5,056		5,184		5,312		5,312
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.80	0.00	0.64	0.00	0.64	0.00	0.64 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,983		7,879		8,007		7,853		9,776

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	大会運営を行う教職員の負担軽減策の立案。 学校現場を取り巻く環境を考慮した大会運営案の検討。 部活動の地域クラブ移行に伴うクラブチームの参加体制の構築。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	スポーツ協会事業			担当	教育総務部	
					スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	63	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ協会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	川口市スポーツの推進等を図ること及び、競技力の向上を図るため、(公財)川口市スポーツ協会が行う事業に対して補助金を交付する。		本市のスポーツ推進及び競技力の向上		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	川口マラソン、スポーツ教室、各種スポーツ大会、スポーツに関する講演会、スポーツ功労者及び優秀選手の表彰、広報誌の発刊などの事業費の一部を助成した。		○事業参加者数 川口マラソン大会:5,980人 市民選手権大会:6,633人 都市交歓スポーツ大会:1,906人 各種スポーツ教室:162人 ○表彰者数 功労賞17人 優秀選手賞17人 特別優秀選手賞 154人 学校体育部活動優秀指導者 19人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	スポーツ競技力の向上やスポーツへの取組み意欲の向上が市民の活気ある生活への後押しとなった。また、スポーツ表彰により、一層スポーツに対する活力と向上精神を刺激するものであり、スポーツの普及発展につながった。		川口市スポーツ協会は、前身の川口市体育協会から70年を超える期間にわたり、本市スポーツ推進の中心的な役割を果たしてきた。今後も事業の継続を期待するが、物価や人件費の上昇による事業費の増大が課題である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	2 細々目	スポーツ協会事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		61,012		61,064		61,064		61,651		62,342
決算額(B)=(C)+(D)		53,312		61,063		61,063				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	53,312		61,063		61,063		61,651		
概算人件費(E)		2,310		3,002		3,078		3,154		3,154
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.38	0.00	0.38	0.00	0.38 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)			55,622		64,065		64,141		64,805 65,496

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 /60	物価や人件費の上昇による事業費の増大が課題である。スポーツ協会が実施する事業において、「SPORTSかわぐち」発刊回数の削減や、川口マラソン参加費の値上げなどを実施し、経費削減及び自主財源の確保に努めている。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	スポーツ推進委員協議会事業				担当	教育総務部	
						スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	スポーツ基本法第32条2項(スポーツ振興法改正 平成23年8月24日施行) / スポーツ推進委員協議会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	スポーツ推進委員協議会が実施する事業の一部を交付するもの。		ニュースポーツを広めるなど、スポーツの全般的な推進につなげる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	スポーツ推進委員協議会事業の事業費(講習会、印刷、調査研究、大会、表彰、負担金、保険等)に対し助成を行った。		スポーツ推進委員協議会の事業(各種講習会、大会、広報活動等)を滞りなく実施することができた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	市民の求めに応じてスポーツの実技や指導を行い、積極的に地域の大会やイベントにも関わることにより、市民スポーツの推進に寄与した。		スポーツ推進委員の活動は、地区ごとの特色が強く、統一的な活動状況の確保が困難であるため、地区によって提供できるスポーツ振興の機会にばらつきが生じてしまうことが課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	常任理事会開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	年間の事業に関する話し合いや、活動の報告を通じて、協議会の事業を向上させるための会議である。 他の事業の兼ね合いから、年間5回の開催が妥当である。									
	単位	回	指標の種別	活動												
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		5.00			5.00			5.00			5.00			5.00		
実績値・達成状況		5.00		達成	5.00		達成	5.00		達成						
指標②	名称	スポーツ推進委員数				指標・目標値の説明(算定式)	当市における定数314人									
	単位	人	指標の種別	結果												
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		314.00			314.00			314.00			285.00			285.00		
実績値・達成状況		292.00		未達成	284.00		未達成	281.00		未達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	3 細々目	スポーツ推進委員協議会事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		12,924		12,727		12,733		12,846		12,267	
決算額(B)=(C)+(D)		11,494		11,443		11,593					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	11,494		11,443		11,593		12,846			
概算人件費(E)		5,005		4,977		5,103		5,229		5,229	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,499		16,420		16,696		18,075		17,496	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	今後においては、各地区間の情報交換を図るとともに、委員の質を高め、様々なニーズに対応しながら事業を継続的に行っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	レクリエーション協会事業				担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	レクリエーション協会事業交付金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	川口市レクリエーション協会が実施する事業の一部を交付する。	レクリエーション協会として行う事業に対し交付金を交付することにより、市民の健康増進と体力向上に寄与する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・少年少女グラウンド・ゴルフ体験講習会 ・市民体育祭(地区・ブロック・中央・一般・中学校) ・市民レクリエーション祭 ・各種大会治道警備 ・各種会議、表彰 の一部を助成した。	レクリエーション協会の事業が滞りなく実施された。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	様々な事業を通じて、市民の健康増進と体力向上に寄与することができた。	物価や人件費の上昇による事業費の増大が課題である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	4 細々目	レクリエーション協会事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		3,845				3,878		3,911		3,491	
決算額(B)=(C)+(D)		3,845				3,878		3,878			
財源※	特定財源(C)	0				0		0			
	一般財源(D)	3,845				3,878		3,878		3,491	
概算人件費(E)		4,697				4,977		5,103		5,229	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.61	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		8,542				8,855		8,981		8,720	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	「補助金等のあり方に関する方針」に沿って、交付目的達成のための必要性を審査しながら、交付を行う必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	スポーツ少年団事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	スポーツ少年団事業交付金要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	川口市スポーツ少年団が実施する事業の一部を交付する。	発育発達途上にある青少年を対象に、心と身体の健全育成とスポーツ活動を通じて立派な社会人に育てることを目的とした事業であるため、支援が必要である。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	大会・・・スーパードッジボール大会、駅伝大会 講習会・・・救命講習会、スタートコーチ養成講習会、母集団研修会 派遣費・・・各種大会派遣費、現地研修会費等 会議費・・・総会、本部員会議、指導者協議会 事務費・・・通信費、需用費 の一部を助成した。	スポーツ少年団の事業が滞りなく実施された。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
各種大会により、団員の競技力・体力の向上はもとより、活動を通じた自主性の育成が図られた。また、救命講習会や各種会議を通して指導者・保護者の資質向上が図られた。		概ね達成できている。 スポーツ少年団の活動は競技スポーツばかりでなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動・レクリエーション活動・社会活動・文化活動など、幅広く捉えているということを関係者によく理解してもらう。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別					
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	5 細々目	スポーツ少年団事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		1,200				1,200		1,200		1,080		
決算額(B)=(C)+(D)		1,200				1,200		1,200				
財 源 ※	特定財源(C)	0				0		0				
	一般財源(D)	1,200				1,200		1,200		1,080		
概算人件費(E)		4,928				4,977		5,103		5,229		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.64	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		6,128				6,177		6,303		6,309		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	事業の進捗状況及び課題を踏まえ、スポーツ少年団の活動は発育発達の上で非常に重要な活動と考えられるため、現状同様にスポーツ少年団の事業を支援していく必要があると考える。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	スポーツ推進補助事業			担当	教育総務部 スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7658	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援				
根拠法令等	社会体育奨励交付金交付要綱／県代表選手派遣交付金交付基準／川口市スポーツ・レクリエーション傷害見舞金に関する規則				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	スポーツ活動をする市民の負担を軽減するため支援する。		市民のスポーツ活動、生涯スポーツ活動、競技スポーツ活動の普及を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・各公民館地区におけるスポーツ事業実施のための交付金を交付 ・全国大会等に出場する選手に対して交付 ・各種スポーツにおいて怪我をした場合の傷害見舞金の交付 ・口腔外傷防止用具を作製したかたに作製費経費の一部を交付		・各公民館地区において地区大会などを実施 ・全国大会等に出場する選手に対して派遣交付金を交付 国民スポーツ大会 2件、全国大会 15件、国際大会 1件など ・各種スポーツにおいて怪我をしたかたへ傷害見舞金を交付 11件 ・口腔外傷防止用具を作製したかたに作製費経費の一部を交付 10件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・スポーツを通じた地域コミュニティの活性化が図られた。 ・県を代表して出場する選手の経費負担が図られた。 ・スポーツレクリエーション等に安心して参加してもらうことができた。 ・口腔外傷防止用具を着用することにより安心して競技に取り組むことができた。		・口腔外傷防止用具作成費補助金については、申請が少なかったことを課題と捉えている。令和6年度は口腔外傷防止用具が義務付けられている競技のみとしていたが、令和7年度から対象を拡大し、申請を増やす取組みをしている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	8 項	1 目	3 細目	6 細々目	スポーツ推進補助事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			15,927		15,927		16,927		14,835		12,596		
決算額(B)=(C)+(D)			15,557		15,823		15,449						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		15,557		15,823		15,449		14,835				
	概算人件費(E)		1,001		1,185		1,215		1,245		1,245		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			16,558		17,008		16,664		16,080		13,841		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	「補助金等のあり方に関する方針」に沿って、継続的にあり方を検討する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理			担当	教育総務部	
					スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7657	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	21	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	II 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	専門性の高い競技施設として、市のスポーツ団体の競技力向上と市民スポーツの普及発展に資するべく、各競技団体等と連携を図りながら円滑な施設運営を行うため指定管理者制度を導入するもの。		市のスポーツ拠点として質の高い施設サービスを提供することで、市のスポーツ団体の競技力向上及び一般利用者の健康増進・体力向上といった、それぞれの目的に応じたスポーツ活動の推進に寄与するもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	指定管理者制度を活用し、(公財)川口市スポーツ協会に施設全般の管理運営業務を委託した。		・各競技団体と連携した各種スポーツ大会の招致開催(県・関東大会、都市交歓大会等) ・各競技団体と連携したスポーツ教室の開催 ・トップアスリートを招聘した教室の開催 7/27サッカー(浦和レッズ)、3/23柔道(新井千鶴選手) ・日曜・祝日の開所時間延長、年末年始の開所日拡大	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	市のスポーツ団体の競技力向上に寄与するとともに、市民スポーツの普及発展に貢献した。		市のスポーツ拠点として、引き続き、質の高い施設サービスを提供することで、市のスポーツ団体の競技力向上及び一般利用者の健康増進・体力向上といった、それぞれの目的に応じたスポーツ活動を推進していく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用者数(青木町公園総合運動場・体育武道センター)				指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度目標値の1.5%増とした。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		470,709.00		478,057.00		485,406.00		492,755.00		492,755.00		
	実績値・達成状況	401,103.00	未達成	432,421.00	未達成	413,613.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	4 細々目	青木町公園総合運動場・体育武道センター指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		164,449		160,715		199,942		205,559		215,693
決算額(B)=(C)+(D)		164,448		160,714		199,942				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	164,448		160,714		199,942		205,559		
概算人件費(E)		3,311		3,160		1,620		2,490		2,490
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.43	0.00	0.40	0.00	0.20	0.00	0.30 0.00 0.30 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	167,759		163,874		201,562		208,049		218,183

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	基本協定に定める費用分担により効率的・効果的な施設運営を図りながら、市のスポーツ拠点及び専門性の高い競技施設として、引き続き、質の高い施設サービスを提供することで、市のスポーツ団体の競技力向上及び一般利用者の健康増進・体力づくりといった、それぞれの目的に応じたスポーツ活動を推進していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費				担当	教育総務部	
						スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	20	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市体育施設設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	誰もが健康増進や競技力向上といったそれぞれの目的に応じてスポーツに親しめるよう、民間事業者のノウハウを活用した質の高い施設サービスの提供及び効率的な施設運営を行うため、指定管理者制度を導入するもの。		民間活力を生かした質の高い施設サービスを提供することで、一般利用者の健康増進・体力向上や、市のスポーツ団体の競技力向上といった、それぞれの目的に応じたスポーツ活動の推進に寄与するもの。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	指定管理者制度を活用し、「スポーツで輝く 川口戸塚まちづくりパートナーズ」に施設全般の管理運営業務等を委託した。 ※コナミスポーツ(株)、(株)環サービス、(株)埼玉新聞社、(株)東川口スイングセンターにより構成		・コース型スポーツ教室の開催(水泳、バレエ、バスケ、ヨガ等20種類以上の教室を、3ヶ月で全10回程度開催) ・スポーツイベントの実施 5/11サッカー(アヴェントゥーラ川口) ・利用料金収入還元制度の導入(利用料金の一部を修繕に活用) ・無料巡回バスの運行 ・日曜・祝日の開所時間延長、年末年始の開所日拡大	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
		一般利用者の健康増進や体力向上に寄与するとともに、市のスポーツ団体の競技力向上に貢献した。		引き続き、民間活力を生かした、効率的で質の高い施設サービスを提供することで、一般利用者の健康増進・体力向上や市のスポーツ団体の競技力向上といった、それぞれの目的に応じたスポーツ活動を推進していく。

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	施設利用人数				指標・目標値の説明(算定式)	第5次川口市総合計画基本計画におけるスポーツ施設全体の目標値を達成するために必要な前年度目標値の1.5%増とした。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		484,855.00		492,425.00		499,995.00		507,564.00		507,564.00		
	実績値・達成状況	320,652.00	未達成	354,803.00	未達成	358,249.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	1 細目	5 細々目	戸塚スポーツセンター指定管理者管理運営費			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			140,406		176,000		176,000		176,000		179,105		
決算額(B)=(C)+(D)			140,406		164,823		176,000						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		140,406		164,823		176,000		176,000				
概算人件費(E)			3,311		3,160		1,620		2,490		2,490		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.43	0.00	0.40	0.00	0.20	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			143,717		167,983		177,620		178,490		181,595		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	利用料金収入還元制度を活用した効率的・効果的な施設運営を図りながら、引き続き、民間活力を生かした質の高い施設サービスを提供することで、一般利用者の健康増進・体力向上や、市のスポーツ団体の競技力向上といった、それぞれの目的に応じたスポーツ活動を推進していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	スポーツ教室開催事業費				担当	教育総務部	
						スポーツ課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7657	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	45	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-② スポーツ・レクリエーション活動の支援					
根拠法令等	川口市スポーツ教室等開催要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	教室を開催することで、初心者の方や向上心のある方が気軽にスポーツに参加でき、更にはスポーツの楽しさを知ってもらうことや、心身の成長に貢献することが目的である。		各種スポーツ教室を実施することにより、スポーツの普及・促進が図れ、もって市民の健康増進につながる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	ピラティス教室、ヨガ教室、水泳教室、シニアエイジ健康運動教室等を各スポーツセンターにおいて開催した。		教室においては、主に30歳代から70歳代までの幅広い年齢層の参加により開催することができた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	世代間交流が促進され、スポーツの楽しさを知ることにより、健康増進への意欲向上につなげることができた。		各スポーツ施設の状況により、事業内容や実施件数が異なることから、地区によって提供できるサービスのばらつきが生じている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	教室開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	施設を活かしたスポーツ教室を開催するものであり、予算の編成時にその情勢を鑑みて設定しているものである。(実績回数／開催回数(目標回数))					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		11.00		12.00		12.00		12.00		12.00		
	実績値・達成状況	11.00	達成	12.00	達成	11.00	未達成					
指標②	名称	教室参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	スポーツ教室の「実績回数／開催回数(目標回数)」					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		2,040.00		2,020.00		2,020.00		1,666.00		0.00		
	実績値・達成状況	1,495.00	未達成	1,566.00	未達成	1,291.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		10 款	8 項	2 目	2 細目	1 細々目	スポーツ教室開催事業費		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		1,247		1,351		1,203		1,343		1,609	
決算額(B)=(C)+(D)		1,222		1,336		1,167					
財源※	特定財源(C)	1,118		1,123		1,059		1,343			
	一般財源(D)	104		213		108		0			
概算人件費(E)		616		1,106		1,134		581		581	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.08	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,838		2,442		2,301		1,924		2,190	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	今後も施設の特性を生かしながら、性別を問わず様々な年代の方々のニーズに合ったスポーツ教室を提供できるよう、教室内容について検討していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	総合文化センター指定管理者管理運営費				担当	市民生活部	
						文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,14503	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口総合文化センター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	文化芸術の振興とコミュニティの促進を図り、もって豊かな市民生活の形成と地域社会の発展に寄与することを目的とする。		誰もが文化芸術を通じて輝けるまちの実現	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	指定管理者制度のもと、公益財団法人川口総合文化センターに管理運営を委託した。		・川口総合文化センターの施設管理 ・地域に対する文化芸術の振興	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	川口総合文化センター・リリアについては、令和6年3月1日から約2年間改修工事のため、全館休館。休館中のため、市内公共施設等でイベントを開催した。		新たに建設される美術館を含め、文化芸術拠点として事業を展開していく必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	22 目	1 細目	1 細々目	総合文化センター指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		594,100		627,072		188,562		348,161		579,186
決算額(B)=(C)+(D)		579,400		627,072		188,561				
財源※	特定財源(C)	64,326		70,726		0		14,780		
	一般財源(D)	515,074		556,346		188,561		333,381		
概算人件費(E)		2,002		2,054		6,723		6,557		6,889
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.26	0.00	0.32	0.00	0.83	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		581,402		629,126		195,284		354,718		586,075

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	大規模改修後の計画的な修繕計画が必要である。また今後、使用料の値上げによる利用者の変動などを注視する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	アートギャラリー指定管理者管理運営費				担当	市民生活部	
						文化推進室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	258-1116,14504	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	5	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口市立アートギャラリー設置及び管理条例、川口市立アートギャラリー管理規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	文化芸術の振興とコミュニティの促進を図り、もって豊かな市民生活の形成と地域社会の発展に寄与することを目的とする。		誰もが文化芸術を通じて輝けるまちの実現	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	指定管理者制度のもと、株式会社21世紀文化芸術研究室グループに管理運営を委託した。		川口市立アートギャラリー・アトリアの施設管理 地域に対する文化芸術の振興	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	事故等の問題もなく施設管理が行えた。 様々な展覧会やWSを実施し、市民が文化芸術に触れる機会を創出した。		新たに建設される美術館との事業のすみ分けが必要である。 監査等で指摘されたことを是正する必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	アートギャラリー・アトリアにおける来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度実績値を上回る数							
	単位	人	指標の種別	結果									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	—		0.00		40,492.00		48,485.00		0.00				
実績値・達成状況	—	—	40,491.00	達成	48,485.00	達成							
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)								
	単位		指標の種別										
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
実績値・達成状況													

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		2 款	1 項	33 目	1 細目	3 細々目	アートギャラリー指定管理者管理運営費			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			0		63,900		56,874		59,000		61,100		
決算額(B)=(C)+(D)			0		63,319		56,874						
財 源 ※	特定財源(C)		0		10,501		82		86				
	一般財源(D)		0		52,818		56,792		58,914				
概算人件費(E)			0		2,449		2,511		6,557		6,889		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.31	0.00	0.31	0.00	0.79	0.00	0.83	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			0		65,768		59,385		65,557		67,989		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	川口総合文化センター・リリアの再開及び川口市立美術館の開館により、利用率の低下が懸念される中、新たに建設される美術館との事業のすみ分けや連携などを検討する必要がある。 また、使用料の改定についても検討が必要。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	芸術賞賞賜事業			担当	市民生活部	
					文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14504	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	62	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画、各種表彰規程					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	長年にわたり本市の文化芸術の振興に貢献した方の功労を顕彰し、将来を嘱望される方の奨励を行うことにより、市民文化の向上・発展に寄与するもの。	誰もが文化芸術を通じて輝けるまちの実現	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」、青少年を対象とした「青少年文化活動奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行った。	令和6年11月3日(日・祝)川口駅前市民ホールフレンジアにて文化三賞表彰式、青少年文化活動奨励賞表彰式を開催。「川口市文化賞」「芸術功労賞」「芸術奨励賞」「青少年文化活動奨励賞」を授与。文化賞受賞者松下喜山氏による記録展を同時開催。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	受賞者の文化芸術に関する功績や活動の業績を顕彰することにより、本市の文化力の向上を喚起する推進力へと繋がった。表彰式は、子どもから大人まで幅広い世代が参加した。また、会場内で文化賞受賞者記録展を開催することで、一般の参加者が多数来場した。	推薦によるものであるがジャンルに偏りがある。また受賞者の年齢についても高齢化が進んでおり若い世代の受賞が少ない。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	表彰式入場者数				指標・目標値の説明(算定式)	前年の入場者数×1.1(前年比10%増)					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		220.00		220.00		123.20		114.00		0.00		
	実績値・達成状況	200.00	未達成	112.00	未達成	104.00	未達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2 款	1 項	32 目	2 細目	3 細々目	芸術賞賞賜事業			
年度	令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)	1,173	1,120			963		1,297		1,083	
決算額(B)=(C)+(D)	897	937			956					
財源※	特定財源(C)	0			0		0			
	一般財源(D)	897			937		1,297			
概算人件費(E)	2,156	1,580			1,620		4,150		1,660	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.28	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,053	2,517			2,576		5,447		2,743	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	表彰により個人や団体の活動が広がり、盛んになると考えることから、積極的に受賞候補者を推薦してもらえるよう関係団体等へさらに働きかけていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	市民コンサート事業				担当	市民生活部 文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14504	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	10	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	広く市民が多様な音楽に触れ、音楽を楽しむ機会を設けることにより、本市の音楽文化のさらなる発展・向上に繋げることを目的とする。		誰もが文化芸術を通じて輝けるまちの実現		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	市の施設を活用し、多様なジャンルの音楽を鑑賞する機会を提供するとともに、アーティスト登録制度に登録するアーティストの活動の場を提供する。		・「ロビーコンサート」令和7年1月31日(金)川口市役所第一本庁舎1階多目的スペースにて開催 出演者田辺紀子・ますこゆり 内容ハンマーダルシマー・ピアノ ・「市民コンサート」令和7年2月24日(祝)戸塚公民館にて開催 出演者Swing Eighth、大西まみ・江藤有希 内容ジャズバンド、ピアノ・ヴァイオリン		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	「ロビーコンサート」は来場者が78人、「市民コンサート」は264席の用意に対して、来場者が368人となり、急遽席を増設対応するほどの大盛況であり、アンケートにおいても大変良かった、また来たいという意見を多くいただき、コンサートに対する市民のニーズが高いことがうかがえた。		コンサート等のイベント開催が市の中心部に偏り気味である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	市民コンサートへの入場者数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度実績値の110%					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		88.00		220.00		229.90		405.00		0.00		
	実績値・達成状況	200.00	達成	209.00	未達成	368.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	32 目	2 細目	1 細々目	市民コンサート事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		1,104		1,064		759		1,246		328
決算額(B)=(C)+(D)		855		707		751				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	855		707		751		1,246		
概算人件費(E)		2,156		1,896		1,134		1,162		1,162
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.28	0.00	0.24	0.00	0.14	0.00	0.14 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		3,011		2,603		1,885		2,408		1,490

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	開催場所の確保が課題である。本事業以外にも市内では様々なコンサートが開催されており、今後の事業の在り方を検討する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	文化芸術体験事業				担当	市民生活部	
						文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14504	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	文化芸術基本法、川口市文化芸術振興条例、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	次世代の育成につながるよう幅広い分野の文化・芸術を体験する機会を提供することにより、市民の文化力向上に寄与する。		誰もが文化芸術を通じて輝けるまちの実現	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	市内在住の文化・芸術活動を行っている個人・団体等を講師とし、小・中・高校生の生徒を対象とした文化・芸術活動(特に伝統文化・伝統芸能)の体験ワークショップを行い、発表の場を提供する。		川口茶道会の協力のもと、令和6年12月8日(日)に旧田中家住宅にて「子ども茶道教室」を開催。当日参加者44人、観覧者36人。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	「子ども茶道教室」は40人の定員に対し、77人の応募があり、定員を50人に変更したが、当日体調不良により、小学1年生から高校3年生までの44人の参加となった。茶道教室を通して、普段触れることの少ない文化芸術を体験することにより、様々な伝統文化の良さや味わいを感じ、関心を持ってもらうという目的に適した事業ができた。		教室に参加して興味をもった子どもが伝統文化・伝統芸能に引き続き触れる機会が必要。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	発表会への観覧者数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度開催した1日あたりの観覧者数×1.1					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		0.00		35.00		45.10		40.00		0.00		
実績値・達成状況	32.00	達成	41.00	達成	36.00	未達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	32 目	2 細目	2 細々目	文化芸術体験事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		318		350		236		319		218
決算額(B)=(C)+(D)		182		294		228				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		15		
	一般財源(D)	182		294		228		304		
概算人件費(E)		2,464		316		324		332		332
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.32	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,646		610		552		651		550

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	様々な文化芸術に関する事業を体験してもらうため、文化芸術団体及び個人の指導者に働きかけ、広い分野において協力者を得ることが必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	文化振興交付事業				担当	市民生活部	
						文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14504	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	52	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化振興基金条例、各種交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を積極的に支援することにより、文化芸術の振興を図り、市民の文化力向上に寄与する。	誰もが文化芸術を通じて輝けるまちの実現	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	文化芸術活動を行う市内の個人や団体を助成金・交付金によって支援する。	・市内で文化活動を行う個人・団体を対象に助成事業の公募を行い、6件の申請に対し、選考を経て5件を採択し助成金を交付。 ・初午太鼓コンクール、文化祭実行委員会、青少年ピアノコンクール実行委員会、美術展実行委員会へ交付金を交付。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	市民の自主的な文化事業や創造的な文化芸術活動を財政的に支援することにより、活動の継承に寄与し市民の文化芸術に参加や鑑賞する機会を提供した。	各団体において参加者が減少傾向であり何らかの対策が必要である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化振興助成金の交付要望件数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度の交付要望件数+1件			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		5.00		11.00		5.00		7.00	
	実績値・達成状況	10.00	達成	4.00	未達成	6.00	達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	32 目	2 細目	4 細々目	文化振興交付事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		13,748		12,836		11,645		11,803		12,763
決算額(B)=(C)+(D)		13,424		11,385		11,623				
財源※	特定財源(C)	2,535		0		0		0		
	一般財源(D)	10,889		11,385		11,623		11,803		
概算人件費(E)		10,549		10,981		12,150		12,450		12,450
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.37	0.00	1.39	0.00	1.50	0.00	1.50
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		23,973		22,366		23,773		24,253		25,213

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	川口市文化振興助成事業や、その他助成制度(国・県・財団等)について関係文化団体や個人へと広く周知することに注力し、財政面において支援していくことで、その文化活動の継続と活性化の一助となることを目指す。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	文化団体補助事業				担当	市民生活部	
						文化推進室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1116,14504	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	50	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”-3 市民が自己実現をめざせる環境づくり-③ 文化芸術活動の支援					
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市文化団体連合会補助金交付要綱、川口市民音楽協会補助金交付要綱、川口市文化芸術振興指針、川口市文化芸術基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市内における文化芸術活動を担う団体への支援を行うことで、各種文化活動を促進し、市民の文化力向上に寄与する。		誰もが文化芸術を通じて輝けるまちの実現	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	川口市文化団体連合会が行う文化活動の啓発等に関わる事業費や川口市民音楽協会加盟団体への活動支援のため、補助金を交付する。		川口市文化団体連合会及び川口市民音楽協会へ補助金の交付を行った。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	補助金により、川口市文化団体連合会及び川口市民音楽協会への活動支援を行えた。市民の自主的な文化芸術活動の振興や、それに携わる人材の育成及び交流を図ることができた。		各団体の高齢化等、補助金の交付だけでは解決できない課題もあり団体の自助努力なども必要である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化団体連合会加盟団体数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		116.00		103.00		107.00		102.00		0.00	
実績値・達成状況	103.00	達成	107.00	達成	102.00	未達成					
指標②	名称	川口市民音楽協会加盟団体数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度の団体数の維持。				
	単位	団体	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		77.00		74.00		73.00		70.00		0.00	
実績値・達成状況	74.00	未達成	73.00	未達成	70.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		2 款	1 項	32 目	3 細目	1 細々目	文化団体補助事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		1,900		1,900		1,900		1,760		1,760	
決算額(B)=(C)+(D)		1,900		1,900		1,900					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	1,900		1,900		1,900		1,760			
概算人件費(E)		1,232		711		810		830		830	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.16	0.00	0.09	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,132		2,611		2,710		2,590		2,590	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 /60	文化団体活動を担う若い世代の獲得が課題である。団体への新規加入を目指し、団体のホームページの拡充など活動の周知を図る必要がある。引き続き、団体への情報提供や支援を行い、市内の文化芸術団体の活動を促進したい。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施